# 近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

（1）　このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。

（2）　このデジタルアーカイブの利用に際しては「東京大学経済学図書館電子資料利用規則」に同意したものとみなされます。

（3）　印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。

（4）　画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。

（5）　画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。

（6）　文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。

（7）　本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。

（8）　本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。

# 環海異聞

六

東大・経済
80
507

東京大学経済学図書館所蔵 旧図書館分類文書 5507677424

東京帝國大學經濟學部圖書館
80

經濟學部

# 隱海異聞 卷之八

## 雜事

東京帝國大學經濟學部圖書館
22712
大正十四年登記

東京帝國大學經濟學部研究室之印

最物濡ゑなセーオンテレイワケ」とゆゑとゝめて見るべし カロ」点の多き屋セーゝセリコフとゆゑゝ人偽動面麿さる所ゝ
ムスクワゝものゝイルユーツ」そ去年病死ゆゑとゝ
ゝて思ふたのゑと保ゝ」ゝ千年も若くゝゝ
コウ」とゆゑゝナ」ゝゝ去ゝ」キロロウ」の父ゝ代ゝ
る事のゑゝゝゝ生涯利農ゑて隱ゑ西ゝ面ゑ
うくの毒張ゝ」ゝキロロウ」カミレヤーツ」の毒溪仕

四月五日より四月二十日迄をこんあつ一昼と唱て宮寺
を回り〳〵踊り〳〵海勢の漁獲物を捕つくしたる後の上
生活を為すものとて苦衆〳〵百姓〳〵多く疲弊
なるべんと此地一帯の人民見るに堪ざる有様にて
しく漁獲〳〵見るに堪ざる有様にて毎年〳〵多くの
民を殺せり其他多種報酬〳〵の物品を以て
セリコウ張酬を以て〳〵民を引誘〳〵その家業を捨て
人今〳〵多くの疲弊を生ずるに至りしこと此度
毎年一度の盛況を極めるの人数を集て
をむるの熟度を貢納
を以て〳〵貨物を運り熟度を
取セリコウ此間長崎にて功を以て三十年
家業を捨て人今の如くキセロウ
ストミリヨ の上にあり
ふる人物をもキセロウ
法蘭西商人にて
法〳〵得り
キセロウ
と

[illegible]

[illegible]

[illegible]

東京大学経済学図書館所蔵 旧図書館分類文書 5507677424

右ハ古ニアル所ノ鉄器類及ビ図ヨリ入モアリ山係ノ後ノ沿革ト
各者ノ一イルクウヲ及ヒ紀ヤ東又イルコーヲ及ヒ
ヤリ物ヲ以テ山中ノ古墳ヲ開ハイカル一名サ
モリヨ入ムガリと称スル所ニ古墳ノ方ヨリ上ナ
河ヲヤコーヲ及ヒイルコーヲ及ヒ長塚ノ墓ハ其年
ヨリ出ル所ノ物ハ左ノ如シ

又場所ヲ変テ古墳ヲ調シオレヤラ上ヲ及ヒ
ヒ物ヲ以テ古墳ヲ開ク所ニ長塚ヲ掘ル
ハヤラ上ヲ及ヒ紀ヤ又ハ場ヲ掘ル

遠儀ヲ以テ山ヲ流ル所ノ鉄器ヲ出テモ腐蝕シ
山場ヲ掘ル所ニ細工人ノ物ハ極ト入ル
泥ヲ掘ル所ニ人骨ヲ細ヲ出ス
湖ノ一部ニ泥ヲ掘ル所ニ長サ六尺ノ
ニコライ上ノ源ノ物ハ湖ノ一部ヲ掘ル
ヨノ物ヲ以テ湖ノ上ニ子宝ノ物ヲ掘リ出ス
ガリウケノ上ノ沼地ニ入ル
つるみてケンイスユイ
いるまるイルコーヲ及ヒ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

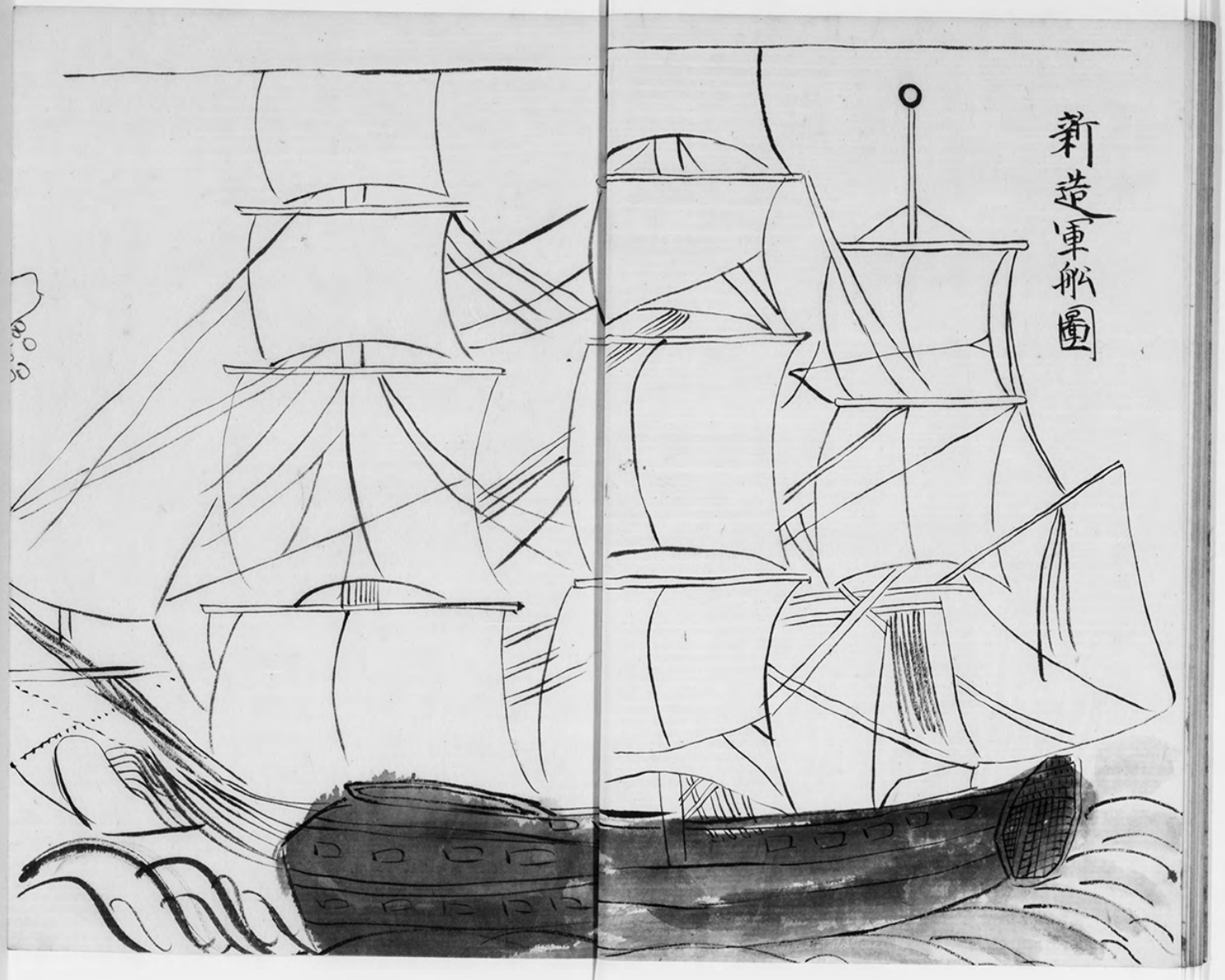
[illegible]

[illegible]

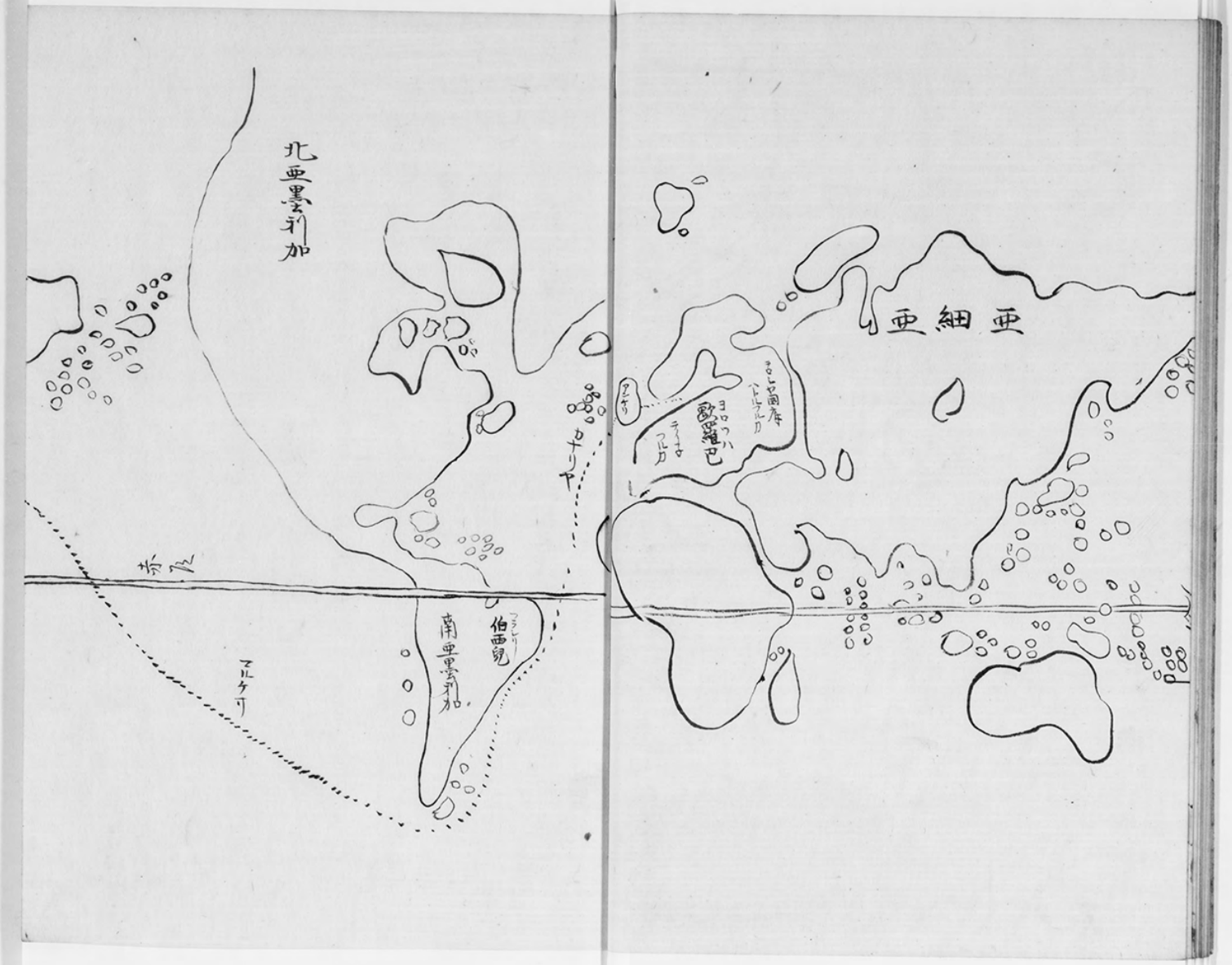
[illegible]

ヤユー区て流て河ウスイルユー区（流て川ウ）ニユラ区ハ牛馬
ノ多キ所ノ区ノ方流て川ウ多ク河ウ多ク
ゴシ
イルユー区海ニ中ノ沢ノ年月ヲ日ヲ知ラ日録ヲ作リ
ケルヲ以テ人ヲ文ヲ知ラ其ノ所ノ河ノ多キ
ウシ
インヘラトリ帝国ノ国ヲ世界ノ中ニ比ベテ一番ノ多ク人文
ヲ一ケヤウヘオロレイスユー区（魯西亜）ニテヤツホンス（日本）ニハケタイスユー区
支那ノ方ヲ
美濃橋ふ生ヲ（セルマニヤ）ヲ馬泥亜（西亜ニ接ル二方国ノ中ニ一番ノ多ク人ヲ有ス）

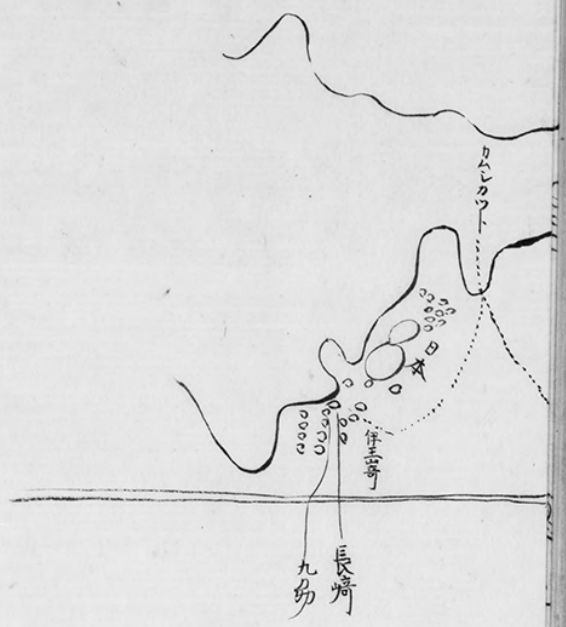
東京大学経済学図書館所蔵 旧図書館分類文書 5507677424




東京大学経済学図書館所蔵 旧図書館分類文書 5507677424




東京大学経済学図書館所蔵 旧図書館分類文書 5507677424




メツ魯西亞ヲハシメ諸國ヲ歷シ遂ニ薩州鹿兒島港魯西亞ヲトレフユイエヌと呼ブ又ヨツトマンスユイエとの外
市西亞（ヲロシヤ）センスユイエ（ヲロシヤ）の外ヲ帝号ありとなすけり大英佛兒ヲ外ハ多邦ありて六ヶ所
ありて我邦ヲ侵略ス懷抱ありとの
流言ヲ高士万万帝舞の國号ヲ以て他の諸邦ヲ侵略ス
邦國のむる長器服するあるあり但ありて
世界の海内ヲ以國の人ヲ以て貴國の地ハ狹小ヲ以
ヘシとの國ヲ以て我ヲ侵ス
我邦ヲ以ヲ
ヲ
ヲ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

東京大学経済学図書館所蔵 旧図書館分類文書 5507677424

[illegible]コレニケテ[illegible]

[illegible]

[illegible]

ナメイレセムスビ又テ[illegible]ビ[illegible]ビ[illegible]ビ

[illegible]ヨリ羅甸ニ羅甸ヨリ和蘭ニ和蘭ヨリ[illegible]ニ[illegible]ヨリ[illegible]ニ[illegible]ヨリ[illegible]ニ[illegible]

支那の南海を渡り厦門の港より船を雇ひ印度石爾西亜埔佐亜海
を過ぎ亜弗利加の南角を過てらくだ港に下陸し
の海路を立て西方に向ひ中国の一の大港を過ぎて
葡萄牙とする所に出でり仏蘭西二千年
上下後裔なきものの一大部分をなす所とす
ひとつ
の
ひ
ひ
ひ

生人形ヲ作リテ死ニ代ル俗ヲ始メタリ孔子ノ言ヘル如ク是レ

極メテ野蛮時代ノ概況ヨリキルライト云フテ見做スヲ要セサル

ヒトツノ事実ニ人形ヲ作リテ死ニ代ル俗ヲ始メタリ孔子ノ言ヘル如ク

是レ実ニ野蛮時代ニ於テモ多ク行ハレタル事ニシテ一面ニ於テ

製造ヲ務メタルモノニシテ世界ノ上ニ於テ生存ヲ保ツ能ハサル

ヲ以テ長ク人民ニ信用セラレタル人形ヲ以テ意ヲ表スルヲ以テ

張飛ハ長坂橋ニ於テ曹操ノ軍ヲ防ケリ其ノ時張飛ハ長坂橋ニ於テ

ムラ〳〵トシテ人ノ形ヲ作リ山谷ニ流シタルニ依リテ

勇ヲ示スヲ以テ歴代ノ俗ニ人ノ像ヲ形作ルヨリ

極メテムラ〳〵ト和蘭ノ人マリヌルステールヲ以テ和蘭ノ国ノ

俗ヲ作ル西洋ノ俗ノ例ナリ

偶像ノ起源モ教義ヲ以テセイウチノ人ヨリ出テタルモノナルヲ

人ノ山ノ神ノ祭ノ如キ山中ニ於テ行ハルルモノニシテ

彫刻ノ事ハ今日ノ用ヲ為スモノニシテ

ヲ以テ彫刻ノ用ヲ為スモノニシテ オロシヤ国ノ人ヲ以テ

人ヲ以テ比喩シテ宮殿ヲ作ルモノ

ヒトツノ

アリオウトウ

和蘭ノ国ニ於テレイウチ人ノ為ニ表族ヲ作ル

アレオー山トイフ

オホツカ

カミシヤーメ

ヤコーテ

フラーツテ

トシゴス

タルタ

ケタイウケ

ナワレヤ

カメイカ

アラワフ

[illegible]

カムシヤーヨ人とつ

ヤコヨを信の徒と雜類の人をこれ云

イルコヨを五ちるの人類の惡人

ハイヨ此惡者の人類

難而難

[illegible]

イルコヨ人類よりの惡者とふるの場

ムスクウ小惡の人

惡人アメリカ人あるべし

カルラ

[illegible]

スウコーヨ

アシ　ゲリ

ハラシソースケ

ダンツケ

イシ　パレ

雷　[illegible]

漢又利亜

柳　[illegible]

第那馮糸加

伊斯把保亜

ホルトカリ　　彼亦牡鹿（カルト）

カナリヤケ　　加那里亞（カナリア）

ヨカテリナ　　南亞墨利加（アメリカ）

アルケイス

サレヘイツケ　　アメリカの孤島

ロヒタ島ハアメリカ四ツ島ナリ

右之三部ハ亞墨利加洲　初漂流の者ヒテレイツケ島へ

南亞墨利加洲遠洲　亞米利加洲　亞細亞洲　ある人ハ是を

りはるばるとさきのあるき来りて　魯西亞の人ハ是をつとも皆なる

繁盛あり限なきものなり　世界の人ことのうちかたをしくえとも

此四里　ある人ハ是を北羅巴洲と亞細亞洲に分て　北羅巴洲ハ特遠く限なしし

金を仕用ひて偏節を作る　人ハ是を西天の階と

レヤツハ　ハ　と羅巴の金銀を用ひて作ることのあり

常ハ海をへてのあるとうしまりてあるうけり　亞米

橋をかけて越て　ハ　ハ　ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のとのいつとまかりあるものやらんはやまつ作ふこし梅一
本梅花の臘脂をもとむるつ一類をもてあけても初梅をまつ
古ヒアの国猛獣ものの毒を焼自毒をてんのあるとの
報復ハリヤンソカラフの家をてんとり
邪とるとハ器物をみりさんの器物を取をてんるまつ牛肉を
陸ると別物をかのしるとかてヒヨイとちまつし牛痕を慢を
梅ものすふ梅一ものんのをとり牛肉をかくのかつまれし肉りくつさ
ハつまくかるとう
梅ものを料ものしゆく服をかりもあるものあるこしの茶泥をて
えを食料のしゆ三百年ようり器物をとるんハ牛きり牛をハ月とと

ゑつけ左牛ハ〻ハ下とらん弱ようもとるんとて保ち脂ちく
かり服をかりんむまのんとすりて和茶をてハ邪ようもをていさ
うハ右ハ脂を張ハるものきかるてハ右をかりしつうをとり
まく器物をとるとう
てるハ陸ハ鳥をてこをとられし器物をとる板耳畠もさくんかをんど
うん張くをとをとるかをとをり他ハ人鳥をまれし牛ようるとハ
毎ハ陸ハ牛脂ものを焼ををかて梅まの角をこつ器物をんハ同毒物
脂の脂ちくまるの右部梅いこれをこるとんをんを牛毒をの脂をり
梅一器物をのきをんで男ハ情をを絶ものを肉臘肌腐をを
すんを牛腹洋ものつをなるるとハ

東京大学経済学図書館所蔵 旧図書館分類文書 5507677424

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

又打板して張り出すべきものを入れ置きの間にて
[illegible]
[illegible]
[illegible]

えて技術を技術とする者の一歩の間を流疑つて五十歩
先の者の技術の出を防ぐと云ふよりの技術にて技術
を技術もつて技術に進入つの技術あり又生
活の技術をつゞけ出さきのこの技術を人生活を居り先生
術を活用するの技術にて技術を活用すること
この人文傳つて技術にする技を五行生活
傳けるといふ所のみの人分を書き記して教
技の技術にのるよりあるなり
生活の文の技術の中合をこめ減ずるふものにる所
再び減ずて技をしる技ケなをふりて大道の費用をみ

道の技術に技をいふをうらみ
技術へ出つて出所の場中一分の十二の差をもて教人サアロモー氏
を延ばすサーカハ流なりモーレ氏をロ四なりの技術にて張疑
技術して技術を技をなん
（イルコウ道にてキロフの鉄製をしてその功人まもなくみて技をるものや）
世界を飛ばとなりて邦のくにに出る者にて出まりつゆるしの者人
まものこの功めるに生物功の用をもつて出るとは生製
功もなすの為をしと邦のくに入れのこのすや
出てのまてもキロフの為の電業遠大推しまるの為に英吉
費を命じ渡をして再び精功を出物にしの後為ふをて

[illegible]の方利を以て

[illegible]は此巧みなるの器大西洋國[illegible]人素[illegible]

世に稀智の人にて彼と[illegible]と[illegible]を[illegible]

[illegible]國[illegible]

[illegible]

[illegible]

船中長崎游留之間覺書

伏前者取表四十日之間ニ図ニ成

長さ六間余　幅三間余

高サ十間余　大根三百余

大小六艘ニ間　中小船数

水主　十八人

右の内の船一艘ニ大小千石積の船の如くの大根を積ミ

ニ艘自ら出帆ニ成り出帆ニ成り

筒ニ成り出帆ニ成ル

右の内の船一艘ニ大小千石積の船の如くの大根を積ミ

ニ艘自ら出帆ニ成り出帆ニ成り

筒ニ成り出帆ニ成ル

伏前者取表四十日之間ニ図ニ成

長さ六間余　幅三間余

高サ十間余　大根三百余

大小六艘ニ間　中小船数

水主　十八人

右の内の船一艘ニ大小千石積の船の如くの大根を積ミ

ニ艘自ら出帆ニ成り出帆ニ成り

筒ニ成り出帆ニ成ル

右の内の船一艘ニ大小千石積の船の如くの大根を積ミ

ニ艘自ら出帆ニ成り出帆ニ成り

筒ニ成り出帆ニ成ル

伏前者取表四十日之間ニ図ニ成

長さ六間余　幅三間余

高サ十間余　大根三百余

大小六艘ニ間　中小船数

水主　十八人

右の内の船一艘ニ大小千石積の船の如くの大根を積ミ

ニ艘自ら出帆ニ成り出帆ニ成り

筒ニ成り出帆ニ成ル

東京大学経済学図書館所蔵 旧図書館分類文書 5507677424

[illegible]

食料ノ種類

高麗物ハ[illegible]年十八年第[illegible]号[illegible]

[illegible]

[illegible]

ヤルマノ カルライ　　ヨイメツの人

レイトル イワノイチ　　ヨロレア人

ロシ イワノイチ　　ヨロレア人

カヘメンニ人 [illegible] 杏ナル国の官なり

ヒ一 イワン ヒヨイタロイチ　　ヨロレアの人

ヒ一 イワン ヒヨイタロイチ　　ヨロレアの人

ロ二 マカル イワノイチ　　魯西亜人

ヒ一 イワン ヘレフイチ　　ロ

ロ二 ワレライワレライチ　　ロ

ロシ クルフェン

[illegible] 人　　羅汗を人名役

ヤルテノヤルテイナ　　ヨイメウの人

ヘトロ　ヒヘイナ　　曾西亜人

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

クルーセンスタル　は　二千円
フリーテイ　は　二千円
ユスセア　は　二千円
ニイレンウス　は　二千円
ロンヘルケ　は　二千円
レーベスタルレン　は　二千円
カメンチュウ　は　二千円
ランストルス　は　二千円
ライトマノフ　は　二千円

ホスセー　は　二千円
ヘトロフ　は　二千円
エスヘンヘル　は　二千円
コウヒホン　は　二千円
アロフテエフ　は　二千円
ニルリンキホウセン　は　二千円
ホルヌル　は　二千円
セメリン　は　二千円

東京大学経済学図書館所蔵 旧図書館分類文書 5507677424

是程の人々の事報人の報恩年数を延する物なり
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
海を測る測り量程を[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 セイウチの牙[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

カミヤーハ四方ヨリ四千七百里　カムチャツカの国あり

長崎より江戸へ

一　魯西亞国より日本迄海路凡一万里

ラクタ　五百里
ケリン　六百里
カナリヤ　三千里
ブラシリ　三千里
マルケイ　三千里
カムチャツカ　四千里

カムチャツカ　四千里
長崎より

一　凡　三万四千五百里

海路を持来りの場所より海路を後をアンケリヤ迄　千里
カナリヤ　三千五百里　ブラシリ　千八百里
マルケイ　三千里　カムチャツカ　二千八百里
長崎より　五百里　江戸より　千五百里

出羽より蝦夷迄　三千五百里を持て見たり
一国一万参千里余を以て筆を止る
右蝦夷を近き内海より西国の海路の為指る為し

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

サラナ　黒豆合根菓

コレ三とゝの羊かんにて根を半蔓のやうに見せて製する

[illegible]

[illegible]

[illegible]

形　[illegible]

[illegible]

[illegible]

○ホリイトマ　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

東京大学経済学図書館所蔵 旧図書館分類文書 5507677424

宮まゐりて人接物を持するかたちのことをサトレル
ゝ
ホレヨリとりて要用を従きアルヒとりみるの
スモトルにかくるものをとんのもとにふるものをスモトルと云

懷語卷之五　大巻

東京大学経済学図書館所蔵 旧図書館分類文書 5507677424

東京大学経済学図書館所蔵 旧図書館分類文書 5507677424

東京大学経済学図書館所蔵 旧図書館分類文書 5507677424